

所属・氏名（ 看護学部 看護学科 氏名：下見 千恵 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書) 看護実践の根拠がわかる 母性看護技術	共著	2015年10月	メヂカルフレンド社	著書全体の概要:母性看護で用いる看護技術を援助過程に沿ってその方法と根拠を示し、看護技術の学習効果を高めることを目指した内容 (総ページ数:299頁) (著書全体の著者:谷口千絵,北川真理子,藏本直子,星貴江,下見千恵,杉下佳文,田中泉香,脇本寛子,安達久美子,谷口通英,喜多里己,中山和美,島田真理恵,渡邊典子,寺口顕子,上山直美,田淵紀子,名取初美) 担当部分の概要:「妊娠末期の妊婦のケア」について (担当ページ:pp.73-88,単著)
2 (学術論文) EARLY PUERPERIUM INVOLUTION OF THE UTERUS AFTER CAESARIAN SECTION: BASIC DATA FOR USE IN AN ASSESSMENT INDEX 《筆頭論文》	共著	2016年12月	Journal of Japan Academy of Midwifery, Vol30(2)	帝王切開後の子宮復古について経日的変化及びその特性を明らかにし、子宮復古状態のアセスメントのための基礎的データを示した。 (当該論文ページ数:333-341) (当該論文の著者:SHITAMI,C. & TAKENAKA, K) 担当部分の概要:全般
3 (学術論文) 未就学児をもつ母親の飲酒実態と飲酒動機に関する面接調査	共著	2021年1月	母性衛生, Vol61 (4)	0~6歳児をもつ母親の飲酒実態と飲酒動機を明らかにすることを目的に41名を対象に半構造化面接調査を行った。飲酒率や飲酒量等について、妊娠前や就労状況との関連を分析した。飲酒動機では9カテゴリが抽出され、最も多かった飲酒動機カテゴリは【家事・育児・授乳期間終了後の報酬】であった。 (当該論文ページ数:622-630) (当該論文の著者:児玉史乃,下見千恵) 担当部分の概要:全般
4 (報告・発表) Literature review of decision-making process and nursing care in prenatal diagnostic tests.	共著	2015年7月	The 11th ICM Asia Pacific Regional Conference	研究概要:近年、無侵襲的出生前遺伝学的検査等に対する社会の関心が高まっている。出生前診断を考える妊婦のケアの在り方を検討するために、検査の是非を決定した妊婦の気持ちとケアについて文献検討した。 (当該論文の著者:石川真季子,下見千恵) 担当部分の概要:共同研究につき本人担当部分抽出不可能 (担当ページ:担当頁特定不可能)
5 (報告・発表) The infant behavior directing gaze toward mother in natural settings as role in supporting the development of self-regulatory functions.	共著	2016年7月	The 31st International Congress of Psychology	As an aid to support the early development of self-regulatory functions, this study investigated about the infant behavior of directing gaze toward mother in natural settings. (著書全体の著者:TAKENAKA, K. & SHITAMI,C.) 担当部分の概要:共同研究につき本人担当部分抽出不可能 (担当ページ:担当頁特定不可能)